

政府・東京電力中長期対策会議 運営会議 第2回会合 議事概要

日 時： 平成24年1月23日(月)10:00～11:25

場 所： 東京電力 本店 本館1201会議室

出席者：【共同議長】

園田大臣政務官(内閣府)，北神大臣政務官(経産省)，相澤副社長(東電)

【顧問】神本大臣政務官(文科省)

【委員】朝日委員(経産省)，山下委員(東電)，山本委員(保安院)，

加藤委員(文科省)，横溝委員(JAEA)，岡村委員(東芝)，丸委員(日立)

【アドバイザー】尾本委員(原子力委員会)，横山理事(電中研)，浅間教授(東大)，

井上顧問(電中研)

議 事：

1. 共同議長より，冒頭ご挨拶

- ・ 運営会議も2回目を迎え，いよいよ本格的に中長期ロードマップの進捗を確認し，これを確実に推進していく。まずは，冷温停止をしっかりと確認することが基本。冷温停止の維持と更なる精度の向上を目指す。中長期の取り組みの中では，作業員の環境改善も重要な課題。作業中の十分な注意に加え，モックアップを含めた事前のシミュレーションの確実な実施等により，困難な課題も乗り越えていきたい。2号機の格納容器内部が観察できたことは大きな一歩。一つ一つ確実にチャレンジし，国内外の皆さまに見えるようにしていきたい。(園田大臣政務官)

2. 新メンバーについて

- ・ 事務局より，運営会議メンバーについて以下の説明があった。
 - ① 研究開発推進本部長の指名に基づき，研究開発推進本部の構成員が6名追加。
 - ② 運営会議共同議長の指名に基づき，研究開発推進本部の構成員で運営会議の委員になっていない者は，運営会議のアドバイザーとして参加。

3. 第1回会合議事概要について

- ・ 事務局より議事概要(案)について提示があり，コメントがあれば本日AM中に事務局まで伝えることとした。

4. プラントの状況について

- ・ 東京電力より資料に基づき説明があり，原子炉が引き続き安定的な状態にあることが確認された。
- ・ 委員から以下のコメントがあった。

先週，送電線停止の影響を受け一部施設が一時的に停止した。本件はすぐに復旧し問題なかったが，瞬間的な電圧低下はカミナリ等の影響で起こりうるので，対策を確実に実施すること。(保安院)

5. 個別の計画毎の検討・実施状況

- ・ 東京電力より、これまでの一ヶ月間の動きと今後一ヶ月間の予定について、資料に基づき説明。特に、循環注水冷却の分野について2号機格納容器の内部調査、滞留水処理の分野について滞留水の管理に関する検討状況を説明。委員より以下のコメントがあった。

<循環注水冷却（4号機使用済燃料プールについて）>

- ・ 原子炉ウエル側から塩分除去していない水が流れ込む可能性があることを考慮した対策を検討すること。（保安院）
- ・ 事故当時かなり長期に亘って高温にさらされているので、中長期の観点でプールの健全性評価について検討すること。（保安院）

6. 中長期ロードマップの進捗状況

- ・ 東京電力より、中長期ロードマップ進捗状況について資料に基づき説明があり、この内容を確認した。

7. 共同議長より、終了ご挨拶

- ・ 本日の報告を受けて、一步一步確実に進捗していることが確認できた。トラブル等により一部進捗に遅れが生じている課題については、多岐にわたる関係者の連携を密にし、課題解決に取り組んで頂きたい。（園田大臣政務官）

8. その他

- ・ 第3回の会合は以下の日程で開催する。
平成24年2月27日(月)10時～

以上